



# Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 **東京多摩グリーンロータリークラブ**

1991~1992年度クラブ目標 **“親睦と奉仕の流れを創ろう”**

~~~~~ 第64回例会報告(2/12) ~~~~~

特別代表 由井 重光

司会 SAA 吉沢 洋景

☆点 鐘 会 長 田中 實

☆ロータリーソング 「日も風も星も」

ソングリーダー 小島周二郎

☆お客様紹介 会 長 田中 實

富室 健 (東京多摩RC)

野沢麻衣子 (派遣学生)

☆会長報告 会 長 田中 實

\*2/9(日) 多摩そごうバンケットルームに於て催されました、横倉舜三会員の出版祝賀会に多数ご参加いただきましてありがとうございました。

☆幹事報告 幹 事 宮本 誠

\*他クラブ例会変更のお知らせ

- ・東京多摩RC  
3/10(火)→3/11.12 地区大会振替
- ・東京武蔵府中RC  
2/14(金)→移動例会に振替  
3/13(金)→3/11~12 地区大会振替  
3/20(金)→休会(春分の日)
- 4/ 3(金)→府中RC30周年記念式典振替
- ・東京西南RC  
3/10(火)→3/11.12 地区大会振替  
3/31(火)→夜間例会→昼間例会に変更  
4/ 7(火)→移動夜間例会

\*東京府中RC創立30周年記念式典登録料お振り込みのお願い

当クラブとしては移動例会とし、全員登録と決定されましたので下記の通り登録料をお振り込みください。

登録料 20,000円 支払期限 2/28(金)  
振り込み先 三菱銀行多摩センター支店  
(普通) 0546119

東京多摩グリーンRC会計担当 戸田 昭寿

【お礼のご挨拶】 横倉 舜三

2/9 出版を祝う会に多数の会員の皆様の御参加を頂きましてありがとうございます。永田会員のお言葉にありました様にこれを出版点として今後も頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

☆委員会報告

★ロータリー財団委員会 萩生田茂夫

ボールハリスフェロー表彰受賞者

遠藤 二郎、橋本 幸夫、吉尾警太郎





\*ボールハリス準フェローの本年度目標は30名となっておりますが本日現在9名ですので目標達成の為会員の皆様のご協力を切にお願い致します。

★親睦委員会 奥田 文夫

ニコニコBOX

富室 健様

本日はお世話になります。

津守 弘範 先日の横倉さんの出版記念パーティーにおじゃまして、おめでとうございます。

横倉 舜三 2/9 クラブの皆様には多くの方にお祝にお出かけいただき有難うございました。

吉尾警太郎 遠藤会員、昨日の東京国際競技会にて第3位入賞おめでとうございます。

伊神 稔 春も近づきました。

宮本 誠 毎日春みたいです。

奥田 文夫 新しい企画がスタートしました。

以上 合計 ￥18,000円

\*4/8(水)お花見(移動例会)のお知らせ

北村会員のご協力を頂きまして東京国際CCに於いて、夜間例会(夫人同伴)として企画致しております。詳細は後日お知らせしますが色々楽しい催しを計画中です。是非ご参加下さい。

\*6/3・4 親睦旅行のお知らせ

只今企画中ですが熱海方面を検討中です。また第2日目は萩生田会員のご協力により大熱海GCで親睦ゴルフ大会を催す予定ですので楽しみに!!

★出席委員会

〔出席報告〕 吉原光太郎

|      | 総数 | 出席 | MU | 欠席 | 出席率    |
|------|----|----|----|----|--------|
| 本日報告 | 43 | 37 |    | 6  | 86.05% |
| 前回訂正 | 43 | 38 | 1  | 4  | 90.48% |

〔先週のメイクアップ〕

隅 耕造 2/3 西北RC

〔欠席届者〕内藤 貢 (免除者1名)

〔欠席者〕

大松 誠二、増川 徹、松原 健、

中山 恒武、小坂 一郎

★次年度会長報告

\*第3回被選理事会の報告

2/5(水)PM1:40~3:10 於 野村証券サロン  
議題及び決議事項の発表は次回例会(2/26)後、被選クラブ協議会を開催し詳細報告致します。

次年度役員、理事及各委員会委員長のご出席をお願い致します。欠席の場合は代理の方が必ず出席下さる様お手配を下さい。

★野沢麻衣子さん報告

私は当クラブの御支援を受け、派遣学生として3/28出発することが決まりましたので御報告しお礼を申し上げます。

〜【卓話】〜

〔学校五日制の意味するもの〕

(1) 学校五日制とは明治五年の学制発布以来の義務制の学校六日制を改め、学校を週五日制とすることである。具体的には毎週土曜日の授業を休み土日の二日間が休みになることをいう。

弁護士 高野 範城



文部省は昭和六一年の臨教審の答申をうけての全国六八実験校での成果をふまえて取りあえず本年二学期から、月一回土曜日を休日とする方向であると伝えられている。数年後には毎週土曜日が休日となり完全五日制へ移行する予定である。ところで我国の学校五日制は率直に云えば公務員の週休二日制と連動する形で進行してきている。いうならば公務員の週休二日関係で唯一とり残されていた教職員までが週休二日制の対象になってきた、その裏返しの問題として子供の学校五日制が登場してきた側面があることは否定できないところである。

(2) 学校五日制と学力問題。我国で五日制が実施されると現行のカリキュラムが抜本的に改められない限り、これまで六日間で実施し



ていた授業が五日で実施されることになる。これらの改革がされないままでは子供たちは一層「つめこみ」授業と速度の速い授業がなされることが予想される。これでは学校五日制でかえって子供達は学校の授業についていけず、塾通いを強いられ「ゆとり」を失うことになりかねないことになると思えよう。これに反して現行の六・三制と授業時数を維持してカリキュラムの内容のみ変えようとするならば子供達は学力の低下を来すことになりかねない。現在のところ進学を売り物にしている私立の学校は五日制をしない方向である、とのことであるから公立の中学校への進学ではなく「学力水準」の高い私立中学への子供達の集中化という現象が今後予想される。現に多くの私立学校は今後予想される大幅な生徒減に備えて特色ある私立づくりを進めているところでもある。そしてこのことが小学生の親達の私立中学志向を一層助長することになっているのが現状である。

(3) 学校五日制の家庭、地域へ及ぼす影響、さて学校五日制が今後実施されることになること子供達は土、日、と家にいることになる。親達にとってみると子供の土日の過ごし方が問題になる。週休二日が実施されている家庭にあっては親子と一緒に過ごす時間が増加するから親子の対話が増すことが期待される。他方、土、日が休んでない家庭にあっては土曜日に子供が一人であるか、一方の親が欠けた状態で過ごすことになる。このような家庭にあっては五日制は必ずしも歓迎すべきことではないことになる。どうしても学校五日制を実施するならば現在の小学校を対象としている学童保育を休みの土曜日にも実施するか、児童館などを近隣に多数作ってほしいという要求が出てくることになると思えよう。学校に代るいわゆる「受け皿」の問題がそれである。さもなくば社会教育の施設が必ずしも完備していない我国にあっては学校五日制は時期尚早だという論議になりがちである。いずれにしても学校五日制は学校にとどまらず、家庭、地域に大きな影響をもたらすことになる。

(4) 受け皿について、既に述べたように学校五日制の受け皿は子供を含む地域の人がすぐ

近くで学び四季を通じて遊び、楽しめる施設である必要がある。それには、既存の行政の夕テ割りを越えて何が望ましいスタッフと施設であるかを考える必要がある。例えば学童保育や児童館は厚生省、が学校や生涯学習の施設は文部省、大規模な公園などは建設省など、少なくとも地方公共団体のレベルでは一元的な行政をしていく必要がある。また同じような施設は思いきった統廃合と重点設定をしていく必要がでてくる。例えば多摩市の学校のプールは現在、小中学校に一つであるが、屋外のため年間一ヵ月程度しか使用できない。これを中学校に一つの割で屋内プールとし通年型でしかも夜も使用できるような一般開放型にするとか、中学校の体育館を二階建とし一階は一般のクラブチームに、二階は親子で自由に遊べる施設にするとか、今後予想される生徒減の中で空教室を地域住民のコミュニティセンターにするとか、あるいは生涯学習の施設を作るとかの試みが必要である。

更に多摩市は比較的公園が多いのであるが、それぞれの公園に特色をもたせ（例えば中沢公園や一本杉公園など）これらの公園から公園への散歩道やサイクリングコースを車いすでも行けるように抜本的に整備するとか。多摩川の河川敷や河を利用しての水辺の野鳥の公園を作るとかがそれである。また国や都の施設や公団あるいは私立の学校を利用することも考えられてよい、例えば現在青少年団体に夏期の間解放される多摩弾薬庫を春休み、五月の連休、夏休み、秋の連休のシーズンなどに開放し親子のキャンプが可能になるようにするとかが考えられる。これらの施設やスタッフの配置には膨大な予算が必要であるものもあるが多摩市の中に学校五日制の受け皿に関する審議会を設置して多面的な角度から検討を開始するならば費用にしてもスタッフにしても意外に名案が生まれてくることにもなりかねない。いずれにしても学校五日制は生涯学習や福祉施設と連動させたとき、学校と地域と家庭に大きな影響を及ぼすことになる。ロータリアンとして職業奉仕の形で、青少年奉仕の形で、社会奉仕の形で受け皿づく



りに参加することが強く求められている。私達は我が子の幸福を願うならば地域の行事や学校の行事に積極的に参加し、他人の子ども我が子と一緒に成長し子供も老人も障害者も安心して住める街づくりへと視野を広げていくことが今求められている。私達ロータリアンはその専門性を発揮する意味でも一度学校五日制の受け皿づくりに向けて教育委員会や社会教育、福祉、建設などの市役所の人々とじっくり懇談してみたいかであろうか。

(紙面の都合上大幅な省略を致しました事をお詫びします。ご了承下さい。会報委員会)

## ★社会福祉問題プロジェクトからの報告

(2/5 例会報告分) 高野 範城

1月29日の例会終了後、第1回プロジェクトチームの会議がもたれました。この日は高野の「高齢者、障害者問題の現況について」(その一)と題するレジュメに基づき、若干の報告を受けた後、参加委員全員が福祉と仕事の関係、あるいは自分との関係について述べる型で意見交換をしました。ロータリアンの奉仕と福祉問題は密接な関係がありますが、日常の仕事では福祉問題を意識することなく生活をしています。今後二週間に一回位のペースで打合せを持ち、とりあえず最初の打合せに当っては我国や多摩市の福祉の現状がどうなっており、どんな問題があるのかを全体的に述べ合い、その後4月ないし5月迄の間に一定の方向性を出すことなどが話し合われました。次回は2月12日午後1時30分から3時です。今後の会合の途中の経過は例会で毎回報告をし、方向性については全員協議会などの場で話し合いをすることなど話し合われました。

高齢者、障害者(児)問題の現状について  
(その一)

### 1. 障害者問題の理念

(1)国連・障害者の10年の最終年

(2)アメリカ障害者法  
2. 今日の高齢、障害者問題

(1)高齢者問題の現状

(2)障害者(児)問題

### 3. ロータリアンとの関係

(1)福祉を考えた町づくり、建物等の建築

(2)雇用問題

(3)援助について

\*\*\*\*\*

## 【年頭のご挨拶】

(1/15:第59回例会:会員発言順)

伊神 稔 おめでとうございます。ゴルフの会員券販売をしております。出来ましたら今年もロータリーに皆勤したいと思っております。ゴルフの会員券は株、土地以上に厳しい状況を迎えております。3月の法人決算時に顔を出してくれと電話があって3億円の会員券を売ってくれと言っております。この3月が私の判断では大底であると思う。これから下がっても1割程度とお思います。ひとつゴルフ会員券をお買い求め下さい。東京国際カントリークラブの北村会員が近く社長になりますので宜しくお願いします。

田中 實 今日は成人の日で私は20才の時は中国におりまして、集団赤痢が発生しまして非常にひどい目に合いました。その時に成長が止まったのではないか・・・。

北村 幸彦 2月19日に管理者養成学校の校長にプログラムの方で卓話をお願いしております。皆さん方も後継者問題と言うこともあろうかと存じます。息子さんに社長を譲りたいとか、後継者育成についていろいろあると思います。そういった事でお話をお願いしてあります。楽しみにしてして下さい。

(大変遅れましたが、これでご挨拶された方は分は全て終了しました。 会報委員会)



## 東京多摩グリーンロータリークラブ

会長: 田中 實 副委員長: 栗田文夫・委員: 赤尾泰雄  
幹事: 宮本 誠 渡藤二郎・津守弘毅・橋口洋三  
会報委員長: 足立 尚三郎

\*例会場 多摩そごうデパート7F サブライバメントルーム

事務局: 東京都多摩市落合547  
多摩センタービル7F  
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

\*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30